

令和元年度 第2回緩和ケア・在宅医療部会 議事要旨

日 時：令和元年9月25日(水)17:00～18:30

場 所：琉球大学医学部附属病院がんセンター

出席者9名：中村清哉（緩和ケアセンター副センター長）、友利あかね（緩和ケアセンター副看護師長）、足立源樹（那覇市立病院放射線科部長）、三浦耕子（県立中部病院産婦人科副部長）、屋良尚美（県立中部病院外来師長）、野里栄治（北部地区医師会病院大腸肛門科科長）、笹良剛史（友愛会南部病院診療部長）、名嘉眞久美（沖縄県がん患者会連合会）、増田昌人（がんセンター長）

スカイプ出席者2名：朝川恵利（県立宮古病院地域連携室看護師）、大上永利子（県立八重山病院緩和ケア認定看護師）

欠席者2名：中島信久（緩和ケアセンター副センター長）、伊波善之（県保健医療部健康長寿課）、
陪席者1名：岸本夕紀（がんセンター）

報告事項

1. 令和元年度第1回緩和ケア・在宅医療部会議事要旨

中村副部長より資料1に基づき報告があり、令和元年度第1回緩和ケア・在宅医療部会議事要旨が承認された。

2. 令和元年度緩和ケア・在宅医療部会、在宅ワーキング委員名簿一覧

中村副部長より資料2に基づき報告があり、令和元年度緩和ケア・在宅医療部会と在宅ワーキングの委員が確認された。

3. 令和元年度緩和ケア研修会開催日程一覧表

中村副部長より資料3に基づき、これまで緩和ケア研修会が修了しているのは琉球大学医学部附属病院と那覇市立病院との報告があった。

4. 沖縄県緩和ケア研修会の報告書について

(1) 琉球大学医学部附属病院（第1回）

中村副部長より資料4に基づき、特に大きな問題もなく滞りなく進められたと報告があった。

(2) 那覇市立病院（第2回）

足立委員より資料5に基づき、インフルエンザの影響で看護師10名がキャンセルになったが、特に大きな問題もなく進められたと報告があった。

5. 沖縄県第7次沖縄県医療計画及び第3次沖縄県がん対策推進計画の中間評価について

次回の会議で報告することとなった。

6. その他

名嘉眞委員より、訪問看護師に緩和ケア研修会の情報が回ってこないのに、案内があれば参加できる人もいないのではないかと意見があった。周知方法については看護協会へ確認することとなった。

協議事項

1. 今年度の事業計画について

増田委員より一年に一度の報告書作成について、できていないところを持ち寄ってみんなで協力することがこの部会の目的の一つだと説明があった。また、今年からA項目が1つでもあると指定取り消しになると説明があった。この協議事項については、次回の会議で再協議することになった。

2. 痛みのスクリーニングと結果のフィードバック及び主治医（チーム）の行動変容について

(1) 琉球大学医学部附属病院

友利委員より資料8に基づき報告があった。屋良委員より除痛ラウンドは週に何回行っているのかとの質問があり、痛みが高得点で続いている方に対して緩和ケアセンターの看護師3名で不定期に行っていると回答があった。

(2) 那覇市立病院

足立委員より資料9に基づき、看護師の異動などでスクリーニングをやる、やらないという問題が出てきて選定漏れがあると報告があった。フィードバックは緩和ケアチームラウンドの際、病棟へ上がってやっていると説明があった。

(3) 県立中部病院

屋良委員より資料10に基づき、全体の20%くらいしかスクリーニングできていないと報告があった。リンクナースの意識は高まりつつあるが、緩和ケアチームがスクリーニングをフォローアップする力が弱いと感じていると説明があった。

(4) 南部病院及び豊見城中央病院

笹良部会長より、南部病院は緩和ケア病棟があるためスクリーニングはやっていないと説明があった。豊見城中央病院の緩和ケアチームについて、認定ナース1人で対応している状況のため根本的に体制を見直す必要があると報告があった。

3. 日本緩和医療学会第2回九州支部学術大会演題提出について

笹良部会長より資料12に基づき説明があり、九州支部学術大会への演題提出依頼があった。また、長崎大学で行われる同大会へたくさんの方に参加いただきたいと依頼があった。

4. 日本緩和医療学会第3回九州支部学術大会について

笹良部会長より、第3回九州支部学術大会が沖縄で開催されることになり、大会長を務めることになったと報告があった。プログラムにはセミナーやワークショップを入れる予定で、部会委員に対し学術大会の実行委員になっていただけないかとの依頼があった。

5. 次回令和元年度第3回緩和ケア・在宅医療部会の日程について

令和元年12月17日(火)、18日(水)、19日(木)のいずれかで日程調整することが決まった。

6. その他

笹良部会長より令和2年1月19日(日)に南部地区医師会館にて開催されるE-FIELD（患者の意向を尊重した意思決定のための研修会 相談員研修会）について、多数の応募があり、同研修会前日からファシリテーターを務める医師が九州各県から沖縄入りする予定と報告があった。また、今年までは厚労省委託事業で各県1回は実施予定だが、その後はそれぞれの地区や県の医師会主体で研修会を開催してほしいという意向だと説明があった。